



令和元年度 医療経済研究機構自主研究事業

# 中東の医療保障制度に関する 調査報告書

令和2年6月



本報告書の一部または全部を問わず  
無断引用、転載を禁ずる。



一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会  
医療経済研究機構  
Association for Health Economics Research and Social Insurance and Welfare  
Institute for Health Economics and Policy

## 発刊にあたって

当機構では、わが国のヘルスケア政策に関する研究機関として、医療・介護・健康増進・疾病予防を含む「ヘルスケア」全般を研究領域として、さまざまな調査研究事業を行っています。重点的な研究分野の一つである「諸外国のヘルスケアに関する研究」では、先進各国をはじめとする諸外国の医療・介護制度に関する基礎的な情報の収集・整理や、国際比較研究等に取り組んできました。

近年、先進各国のみならず、新興国における医療保障制度や医薬品市場に関する情報へのニーズが高まってきたことから、当機構では2012年度から「新経済成長大国の医療保障制度に関する調査研究」プロジェクトを立ち上げ、2017年度までにロシア、ブラジル、トルコ、インド、シンガポール、インドネシア、ならびにベトナムの医療保障制度に関する調査報告書を発刊してまいりました。

こうした取組により、当機構における「諸外国のヘルスケアに関する研究」は相当の国々をカバーするに至ったと考えておりますが、本年度は、これまでに調査研究を行ってこなかった中東地域に焦点を当て、文献調査を通じて最新の情報を入手し、報告書としてまとめることを目的としました。今回の調査研究では、中東の中でもとりわけアラブ首長国連邦（UAE）とサウジアラビアにフォーカスしており、当該地域の医療保障制度や医薬品市場に関心をお持ちの皆様の一助となれば幸いに存じます。

令和2年6月

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会  
医療経済研究機構  
所長 辻 哲夫

本調査研究は、中東の医療保障制度に関する基礎データ、アラブ首長国連邦（UAE）及びサウジアラビアにおける取組の情報を収集することを目的として実施した。  
調査研究者は以下の通り。

**「中東の医療保障制度に関する調査」  
報告書**

研究者（2020年3月末現在）

野中	祥子	（医療経済研究機構 研究主幹）
青木	順一	（医療経済研究機構 研究員）
飯田	宏樹	（医療経済研究機構 研究員）
上村	俊雄	（医療経済研究機構 研究員）
近藤	田津	（医療経済研究機構 研究員）
田村	元樹	（医療経済研究機構 協力研究員）

「中東の医療保障制度に関する調査」  
報告書

《目次》

	ページ
<b>序文</b>	<b>1</b>
1. 調査背景.....	2
2. 調査目的.....	2
3. 調査方法.....	3
4. 情報面での制約.....	3
<b>まえがき</b>	<b>4</b>
<b>第1章 中東の概観</b>	
1. 中東の定義.....	8
2. 地理・語学.....	9
3. 歴史・宗教・民族.....	9
4. 人口動態.....	11
5. 教育.....	18
6. 政治.....	20
7. 経済.....	21
8. 進出日系企業等.....	25
<b>第2章 医療の基本データ</b>	
1. 平均寿命.....	32
2. 医療費.....	36
3. 医療従事者.....	41
4. 病床数.....	48
<b>第3章 UAE の医療保障制度</b>	
1. 疾病の動向.....	52
2. 政府の医療に対する方針・ビジョン.....	58
3. 医療保障制度.....	69
4. 薬事制度.....	74
5. 特許制度.....	79

6. 医薬品市場の概況.....	81
7. 医療機器市場の概況.....	86

#### 第4章 サウジアラビアの医療保障制度

1. 疾病の動向.....	92
2. 政府の医療に対する方針・ビジョン.....	98
3. 医療保障制度.....	111
4. 薬事制度.....	118
5. 特許制度.....	121
6. 医薬品市場の概況.....	123
7. 医療機器市場の概況.....	128

## 序文

ページ

1. 調査背景 .....	2
2. 調査目的 .....	2
3. 調査方法 .....	3
4. 情報面での制約 .....	3

## 1. 調査背景

医療経済研究機構では長年にわたり、海外の医療保障制度を調査研究してきている。2012年度から2017年度までは、「新経済成長大国の医療保障制度に関する調査研究」プロジェクトとして BRICs (Brazil, Russia, India, China)、ASEAN (Association of South - East Asian Nations) 諸国の医療保障制度に関する調査研究を行い、報告書に纏めてきた(2012年度:ロシア、2013年度:ブラジル・トルコ、2014年度:インド、2015年度:シンガポール、2016年度:インドネシア、2017年度:ベトナム)。また、2018年度には再度、先進国に視点を戻し、高福祉国家として知られるスウェーデンの医療保障について、医療経済性評価や医療電子情報の活用といった先駆的な取組にも焦点を当てながら調査研究を行い、報告書を発刊した。

令和元年度は、これまで当機構が調査研究を行ってこなかった地域をカバーしていくことを主眼とし、MENA (Middle East and North Africa) と呼ばれ世界各国から注目を浴びている中東・北アフリカのうち、今回は中東に目を向け、なかでも、世界から人材や情報が集まる MENA のハブとしても注目されているアラブ首長国連邦 (UAE) とヘルスケアサービスの規模や先進度で中東をリードする存在であるサウジアラビアにフォーカスした調査研究を行うこととした。

## 2. 調査目的

中東においては、日本との医療・保健分野での協力や経験の交換に向けた取組が進められており、厚生労働省とサウジアラビア保健省との間で覚書が作成されるなど、今後日本との結びつきが深まっていくと考えられる。また、産油国としての豊かな経済力や近年の高い経済成長を背景として、高い医療水準や高付加価値医薬品等へのニーズが注目を浴びている。しかし、現時点では日系企業の進出はまだ少ない。日本で得られる当地の情報は不足しているのが実情であるが、適切な情報提供があれば、日本のヘルスケア産業による中東への投資が拡大していく可能性がある。

そこで今回は、様々な文献を手掛かりに、中東諸国全体の概観やヘルスケア関連データを整理したうえで、UAE とサウジアラビアの2か国にフォーカスした形で健康保険制度、薬事制度、特許制度・知的財産保護、医薬品市場の概況(医療機器の概況を含む)について報告書にまとめ、紹介することを目的として調査研究を行った。



### 3. 調査方法

本調査研究は文献調査として実施した。今回は現地調査を実施しなかったが、日本国内において、ヘルスケア分野に限定せず中東に関するセミナーや書籍にアクセスし、実情やその背景にできる限り触れたうえで調査項目を選定した。その上で、WHO（World Health Organization：世界保健機関）等の公的機関が集めているデータ、UAE・サウジアラビアの政府等がホームページで発信している情報、医療制度や医薬品市場に関するレポート等を収集し、中東の医療保障制度に関して一定程度一覧性のある情報を提供できるよう報告書を作成した。

### 4. 情報面での制約

複数の機関から複数の数値が発表されているケースが存在するが、可能な範囲で政府機関のデータを優先した。医療保障制度や基礎データに関しては、入手し得る最新の情報・データを用いたが、集計方法の違いや頻繁な制度変更等の背景により現状との間に不一致がある可能性がある点にご留意いただければ幸いである。

なお、本報告書における現地通貨単位の表記として、UAE ではディルハム（1 ディルハム=29.95 円：2020 年 4 月 24 日時点）、サウジアラビアではサウジアラビアリヤル（1 サウジアラビアリヤル=28.62 円：2020 年 4 月 24 日時点）を用いている。

また、医薬品の流通について、日本では医薬品卸がその役割を担っているが、中東においては様々な主体が流通の担い手となっていることから、本報告書では総称して「ディストリビューター」と表記している。

## まえがき

### 『IHEP 海外調査の「秘境」に挑む』

これが、今年度、中東地域の医療保障制度を自主研究のテーマに選んだ理由です。弊機構においては、これまで、欧米、ASEAN、BRICs といった様々な国々の医療保障制度を調査研究し、皆様にお届けしてまいりました。もちろん、全ての国について調査をしてきたわけではありませんが、地理的な括りで見えていくと、それなりの地域を網羅してきたのではないかと考えております(右図)。その中で今まで一度も調査できていなかった地域(「海外調査の秘境」)が、中東・アフリカ地域です。今回は、中東・アフリカ地域の中で、今後の高い成長率が期待されている、中東に関する調査に挑みました。

中東は、MENA と呼ばれるポスト BRICs となる地域の一部であり、石油産出国としての豊富な資金力と、比較的安価な労働力を有する地域として、世界各国から注目をされています。

中東において、経済成長とともに、重視されているのが、医療保障等の充実です。中東は糖尿病の罹患率が高い国が多いと言われており、生活習慣病対策は急務となっています。その点では日本とも課題を一にしているところでもあり、例えば、サウジアラビアとの間では「日本国厚生労働省とサウジアラビア王国保健省との間の医療・保健分野における協力覚書」を結ぶなど、医療・保健分野における研究分野での協力等を行っていくこととしています。

このように、今後、医療・保健分野でも日本と関係が出てくるであろう中東ですが、特に医療保障制度については、これまで、まとまった日本語での調査研究はなかったように思います。そうした意味で、今回、弊機構において、調査研究することには大きな意義があるのではないかと考えております。

今回個別に取り上げている、アラブ首長国連邦(UAE)とサウジアラビア王国は、ともに脱石油産業依存を掲げ、他産業の育成等による更なる経済発展を目指して、まさしく今改革に取り組んでいる国で、両国とも、改革の一つにヘルスケア提供体制の向上を掲げています。

UAE では、国内で世界水準のヘルスケア提供を行うことを目標とし、医療従事者数や医療機関数を増やすといったボトムアップはもちろんのこと、ロボット技術や遠隔医療といったヘルスケアにおけるイノベーションを推進するとともに、国民の疾病予防に向けた啓発にアプリ The Health Heroes App を活用したり、アーユルヴェーダ、ユナニ医学、中医学等を組み合わせた統合医療も推進するなど、新しいものをどんどん取り入れようとしている点が興味深いです。

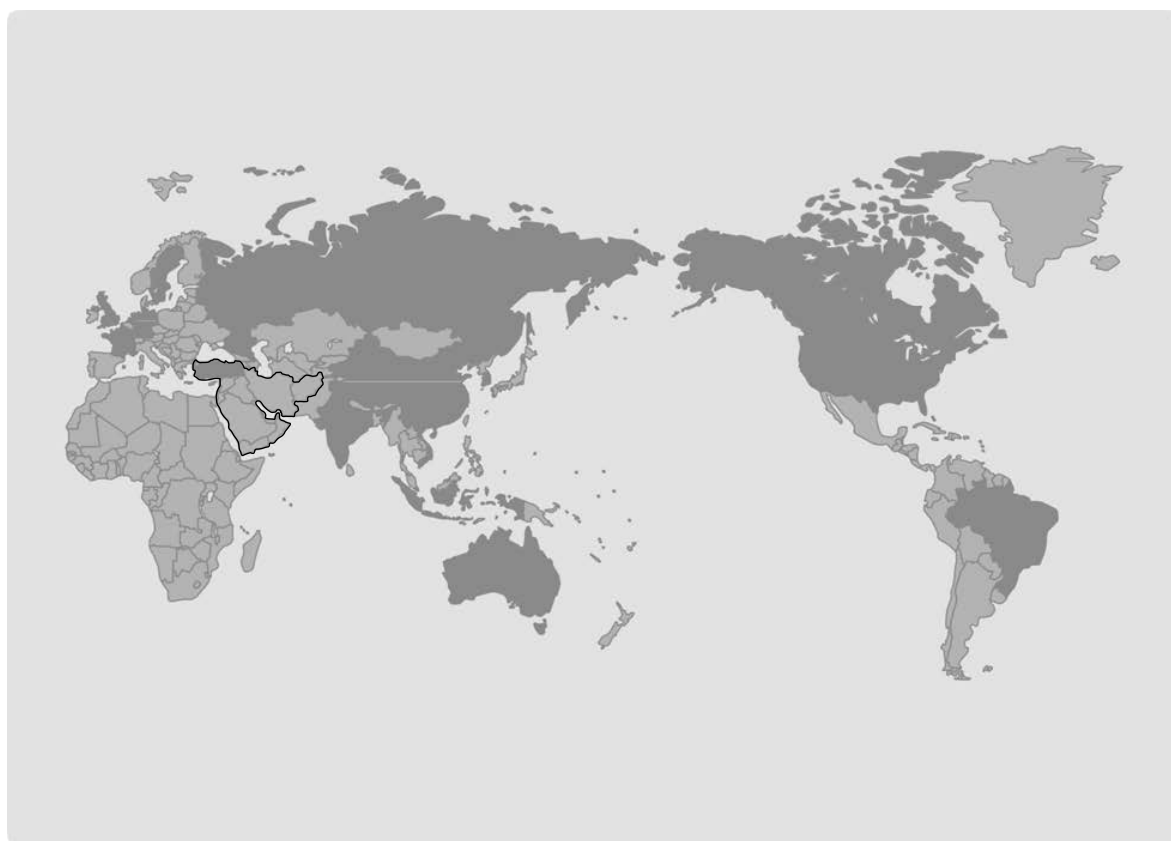
サウジアラビア王国でも、同様に、世界水準の医療提供をビジョンに掲げ、遠隔医療や医療機関同士で患者のデータを活用できる仕組みの整備を推進しており、IT を取り入れた取組が

注目されます。

中東は政治的にやや情勢が不安定な地域で、安全性を考慮する意味合い等もあり、今回は現地調査ではなく、文献調査のみとなりましたが、今注目されている中東の概観や医療に関するデータ、主要国の医療保障制度の概要、トピック、データについて、一定程度、一覧性をもってお示しすることができたのではないかと考えております。本書が、手に取って頂いた皆様のお役に立てることを願っています。

最後になりましたが、本調査研究にご協力いただきました多くの皆様に感謝申し上げます。

医療経済研究機構  
研究主幹 野中 祥子



本報告書の一部または全部を問わず無断引用、転載を禁ずる。

中東の医療保障制度に関する  
調査報告書

令和2年6月

発行：一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会

医療経済研究機構

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-11

11 東洋海事ビル

TEL : 03 (3506) 8529

FAX : 03 (3506) 8528

